

第3期川北町子ども・子育て支援事業計画パブリックコメント意見募集の結果

令和7年3月24日
川北町住民課

○意見の募集期間 令和7年1月27日（月）～2月14日（金）
○意見提出数 提出者1名（提出意見のべ24件）

【提出された意見の概要および町の考え方】

番号	意見の概要	意見に対する町の考え方
1	8ページ ①出生数の推移 出生数の減少傾向が止まらない。なぜ減少し続けるのか、要因分析が必要ではないか。これまでの子育て支援策の効果がなかったからか、効果があったが十分ではなかったからか。 事実データからなぜそうなったのかを深掘りし、課題を明確にする必要がある。	・子ども・子育て支援事業計画は国の動向等を踏まえ、こどもの健やかな育ちと保護者の子育てを社会全体で支援する環境の整備に向けた計画ですので、出生率の評価と分析及び目標については、記載致しません。来年度策定予定の総合計画・総合戦略の参考にさせていただきます。
2	8ページ ②合計特殊出生率 川北町の合計特殊出生率はH30-R4で1.55であり下降傾向に見えるが、総合戦略のKPI検証では、目標1.8、H30年1.857 R1年1.190 R2年1.653 R3年1.746 R4年1.843となっており目標達成である。これをどう評価し分析したのか記述されるべきと思う。（全データに言えることだが）出生率ではなく自然動態減としない出生数を維持できることを目標とすべきではないか。	・子ども・子育て支援事業計画は国の動向等を踏まえ、こどもの健やかな育ちと保護者の子育てを社会全体で支援する環境の整備に向けた計画ですので、出生率の評価と分析及び目標については、記載致しません。来年度策定予定の総合計画・総合戦略の参考にさせていただきます。
3	9ページ 合計特殊出生率、婚姻、離婚数の状況データがあるが、以下のようなデータも見ておく必要があるのではないか。 年齢別の未婚率	・貴重なご意見として、次期の計画策定の参考にさせていただきます。

番号	意見の概要	意見に対する町の考え方
	夫婦 1 組当たりの子供数 初婚平均年齢、 出生順位別出生時の母親年齢 未婚者の結婚願望率 結婚しない(できない)理由 未婚率と年収の関係 少子化は、若者の貧困によるとの見方もある。川北町での実態調査も必要ではないか。	
4	15 ページ 小学生児童とあるが、就学前児童の誤りでは。	・ 修正いたします。
5	18 ページ 就学前児童とあるが、小学生児童の誤りでは。	・ 修正いたします。
6	19 ページ 子育て環境について 不満は何に不満があるのかまで追求が必要ではないか。	・ 貴重なご意見として、次期の計画策定の参考にさせていただきます。
7	20 ページ 子育て支援に期待すること 1 医療費助成や児童手当の充実 2 子供が安心して遊べる公園等の整備 3 教育体制の整備 4 働きながら子育てできる労働環境の整備 5 こどもの医療体制の充実 全ての期待に応えられるのは無理でも、できるものを明確にし、施策の展開のどこに繋がっているかわかるようにしてもらいたい。	・ 1については、35 ページの「(3) 困難を抱えるこども・家庭への支援」、40 ページ「(1) 子育てにかかる経済的負担の軽減」において、2については 34 ページ「(2) 多様な居場所の確保」、3については 38 ページ「①学校教育の充実」において、4については 40 ページ「①働きやすい職場環境づくりの促進」5については 38 ページ「④小児医療の充実」において記載しています。また、町単独の取り組みだけでなく、県や関係機関、団体、企業との連携のもとに施策を展開していきます。
8	21 ページ 貧困線未満世帯や住民税非課税世帯などには、実際にどんな状況で貧困に陥っているのか調査し、状況に合わせた支援策が準備されるべきではないか。	・ 対象となる世帯の実態に即した細かな相談支援を行い、状況にあわせ各種制度の利用に関する助言・指導等に努めています。個々の相談支援を通して、課題の把握・整理を行い関係機関や担当課と支援策について検討していきます。

番号	意見の概要	意見に対する町の考え方
9	27 ページ 「基本目標 2 働きながら安心して子育てができるまち」の見出しを次ページの 1 行目にすべきでは。	・ 修正いたします。
10	23 ページ ①子育て環境等の満足度 不満は何に不満なのか ②町での暮らしについての評価 「鉄道やバス等の交通の便がよい」が 0.6%で「公共交通の便が悪い（＝高校生の通学が不便）」という結果が 42 ページ④移動手段の確保」に繋がっていると理解していいのでしょうか。	・ 高校生等の通学が不便であるなど町の実情に即した公共交通対策のあり方を検討して対応を進めます。
11	29 ページ 人口等の動向、アンケート調査結果、第 2 期計画での取り組み等を踏まえ、本計画で対応すべき課題等を整理とあるが、事実データ（エビデンス）をどのように評価し、分析し、課題を明確にしたのかプロセスを表現すべきではと思う。次の基本計画、施策の展開への繋がりがわかりにくい。第 2 期計画の取り組みは PDCA サイクル回して評価すべき。目標に対して達成、未達を確認し、なぜ満足な結果が得られなかった要因分析を行い次期計画に繋げなければいけないのではないか。 ここで示されている課題は、妊娠からこどもが生まれた後のことに関わるものばかりだが、結婚願望がありながら経済的理由で結婚しない（できない）若者の増加、未婚率の増加、晩婚化などの課題提起も必要ではないか。	・ 今回いただいたご意見を参考に、計画・施策を進めていくことを検討していきます。 ・ 未婚対策については、本計画で掲載すべきものなのかを含めて検討させていただきます。
12	31 ページ い心も → 心も	・ 修正いたします。

番号	意見の概要	意見に対する町の考え方
13	32 ページ 結婚願望がありながら経済的理由で結婚しない（できない）若者の増加、未婚率の増加、晩婚化などの課題に対する目標設定があってもいいのでは。	・未婚対策については、本計画で掲載すべきものなのかを含めて検討させていただきます。
14	34 ページ ②こどもの遊び場、居場所づくり アンケートで要望のあった、学校や家庭以外で子供が無償で勉強を学べる支援や学校や家庭以外で子供が安心して通える居場所としての居場所の整備をお願いしたい。 中高生が勉強できる学習室、不登校や引きこもりの子供の受け入れも必要 全天候型施設には、県立図書館にあるアスレチック的な遊具もあればいいのでは 既存施設を活用するのか、新たな施設を建設するのか、しっかりした検討が必要です。	・34 ページの「(2) 多様な居場所の確保」とあわせて、P35 の「(3) 困難を抱えるこども・家庭への支援」に関連させ、学習支援など、居場所づくりを含めて検討していきます。 ・全天候型の施設整備については町の公共施設全体のバランスも考慮しながら、検討していきます。
15	35 ページ ②ひとり親家庭への支援 奨学金制度の支給額の充実（増額検討）をお願いしたい。	・ひとり親家庭等奨学金については、町独自施策であり、他市町と遜色ない手厚い支援になっていますので、現在のところ増額については検討しておりません。
16	36 ページ ②ヤングケアラーの支援 支援ではなく、こどもが家族のケアをしなければいけない状況を是正すべき。	・ヤングケアラーとならないよう高齢者福祉、障がい福祉、保健児童福祉、自立支援などの関係分野の担当と連携し、家庭内の課題に対して包括的な支援を行っています。
17	P37 ②食育の推進 給食の無償化を盛り込むべき。	・給食の無償化が食育の推進に繋がるのかを含めて検討します。
18	P37 ③保育サービスの充実 保育の完全無償化を盛り込むべきでは、また、保育士の給料アップをすべきでは。	・本町においては町独自の施策として副食費の無償化、完全米飯給食を行っています。また、保育料の低廉化（0 歳児月 20,000 円、1～2 歳児月 16,000 円）も図っています。保育の完全無償化については、町の財政状況を踏まえて検討していきます。 ・人材確保の面からも保育士の処遇改善について検討していきます。

番号	意見の概要	意見に対する町の考え方
20	39 ページ (3) 青年期における支援 年収が少ないから結婚できないと考える若者がいる。若者の貧困対策を支援策に盛り込む必要があるのではないか。	・ ご提案いただいた若者への貧困対策について、担当課と検討していきます。
21	39 ページ ②若者の就労支援 低年収の若者に経済的支援 奨学金返還の支援の対象を、町外町内企業、正規非正規雇用、全て一律で支援してはどうか。 就労支援、リスクリング、専門知識や技術を学ぶ為の学費の補助制度を検討願いたい。	・ ご提案いただいた若者への就労支援について、担当課と検討していきます。
22	39 ページ ③若者の移住・定住促進 新築住宅取得奨励金に追加し、上下水道本管延長が必要な場合の自己負担分を無償化する施策を盛り込む	・ ご提案いただいた内容について、担当課と検討していきます。
23	67 ページ 計画の推進 この計画書とは別に、実施計画書が必要ではないか。「第4章 施策の展開」に記載された取り組みは大きな方向性を示すものとなっているので、具体的な施策に分解し、目標を定め5年間の実施計画を策定する必要があるのではないか。国で定めた施策と町独自の施策があるが、町独自の施策については、具体的な中身をもっと煮詰めていかなければならないのではないか。	・ 各事業については、本計画を根拠として事業化、予算化に努めていきます。また、事業の実施については、関係課との調整のほか、関係団体、関係機関等と連携して事業内容の検討・実施に努めます。
24	68 ページ P D C A サイクル P D C A サイクルは最低1年に1回は回してスパイラルアップするものであり、結果を毎年公表してもらいたい。	・ 計画に掲載した施策、事業については、適切に進捗管理を行うため、P D C A サイクルを推進し、取り組み状況を把握、検証し、その結果について公表するよう努めます。